

笹川平和財団アジア・イスラム事業グループ主催
現代中東若手研究会

笹川平和財団アジア・イスラム事業グループでは、博士後期課程からポストドクター5年目までの若手中東研究者を参加者とした「現代中東若手研究会」を開催しています。各々の研究に関する知見の共有や意見交換を行い、所属組織を越えたネットワーキングを通じて、将来の中東研究の発展に寄与することを目的としており、この度、2022年度の研究会参加者を募集いたします。

本研究会は、中東地域を中心に多様な問題関心を持った方々が集える研究会となることを目指しています。そのため、専門分野を問わず、近現代の中東地域に関わる研究をされている方が参加できるよう、専門とする時代や地域は比較的緩やかに設定しています。

研究会の形式は、各回、若手研究者 2, 3 名の発表に対し、中堅・シニアの日本の中東研究者や実務家の方によるコメントと参加者によるディスカッションを基本としています。それ以外にも、国外の中東研究者を招いて英語での発表、コメントする回を設けるなど、皆さんのご関心を踏まえながら、企画を進めていきたいと思っております。

ご自身の研究・発表のブラッシュアップ、所属機関やディシプリン、研究地域を超えた他の研究者とのつながりや意見交換、特にコロナ禍で直接会う機会の少なかった中堅・シニアの研究者や実務家の方にコメントをいただく機会等、本研究会を様々な形で活用いただければと考えております。

参加を希望される方は募集要項をお読みの上、必要書類を事務局にお送りください。
皆様のご参加をお待ちしております。

募集要項

1. 研究会概要

- 参加者の中から選ばれた発表者(自薦・他薦)が、定められたテーマに沿った発表(15~20分)をし、その後参加者全員でディスカッションを行う。また各回、事務局が定める中堅~シニアレベルの中東研究者1~2名がコメンテーターとして参加する。(国外の中東研究者の招聘も検討中)
- 研究会のテーマは、参加者の関心を踏まえながら決めていきます。
例:「若年層や女性の雇用問題」「研究地域のジェンダーをめぐる課題」「マイノリティ集団」「環境問題、脱炭素をめぐる課題」「移民・難民問題」「市民社会・NPO活動」「域外大国との関係」「アイデンティティや記憶」等
- 開催実績(2021年度):
第1回「現代中東の国家と宗教」(2021年12月23日)、第2回「知識人研究の新たな展開:イクバルと世界」(2022年2月4日)、第3回「教育とアイデンティティ形成」(2022年3月30日)
- オンライン(Zoom)で開催予定。将来的には対面とオンラインのハイブリット開催を検討しています。

2. エントリー資格

- ① 博士後期課程に在席、または満期退学(単位取得退学)もしくは博士号取得から5年目までの若手中東研究者
- ② 専門地域・国がMENA地域(アフガニスタン~マグリブ諸国)である方

- ③ 専門分野は問わないが、「現代中東」に絡めた発表ができることが望ましい
- ④ アンチハラスメントポリシー(別添)を遵守できる方。なお、エントリーをもって同ポリシーに同意したものとみなします。

3. 必要書類

- ① プロフィール(履歴書も可)※必須事項:名前、所属、メールアドレス、電話番号
- ② 研究内容の要約(和文・A4用紙1枚以内)

4. 提出方法

以下アドレスにメールにて応募書類をご提出ください。

middleeast-islam@spf.or.jp

なお、件名は「【研究会参加申込】名前」としてください。

5. 応募締切

年中募集しています。

6. その他

- 参加が決まった場合でも、申請書類に虚偽が発覚した場合、また、エントリー資格に欠格が生じた場合には参加をご辞退いただきますので予めご了承下さい。
- 研究会は記録用に事務局で撮影・録画します。
- 研究会後に HP にて研究会開催報告を掲載するため、各回の報告者にはサマリーの執筆を担当頂く予定です。(謝金有)
- 本研究会は、特定の政治的立場を支持するものではありません。参加者による、自由で活発な意見交換の場にしたいと考えます。

7. 問合せ先

笹川平和財団アジア・イスラム事業グループ 担当:田中・水谷

E-mail:middleeast-islam@spf.or.jp